

平成30年度学生募集分野の研究内容等（博士前期課程）
【特別入試・一般入試】

	分野	指導教授	受入可能人数		研究内容
			前期課程 特別入試	前期課程 一般入試	
基 幹 分 野	薬品製造化学	赤井 周司	5	5	1. 生物活性天然化合物の全合成 2. 酵素触媒不斉合成手法の開発 3. ベンザインの反応制御と合成化学的応用 4. 創薬や医療に資する新規機能性分子の精密有機合成
	生物有機化学	小比賀 聡	1	5	1. 機能性人工核酸の合成研究 2. 人工核酸の核酸医薬・遺伝子診断への応用 3. 核酸やタンパク質を題材とするケミカルバイオロジー研究 4. 非天然型核酸塩基の開発と最先端ポストゲノムテクノロジーへの応用
	分子合成化学	藤岡 弘道	2	5	1. 新有機反応（不斉合成を含む）および反応剤の開発とその応用 2. 活性化学種を活用する合成反応の開発 3. 生物活性天然物の全合成及び関連生物活性化合物の合成 4. 創薬を志向する複素環化合物の分子設計と精密合成 5. 環境調和型反応の開発 ※研究内容が変更になる場合がありますので指導教授に確認してください。
	高分子化学	大久保忠恭	2	5	1. NMR、X線結晶解析など分光学を用いたタンパク質の構造解析 2. 分子間相互作用などタンパク質の活性発現機構の解明 3. 遺伝子操作や化学合成による新規タンパク質の合成と活性研究 4. 構造と活性の相関の情報に基づいた合理的設計による創薬 5. ゲノムプロジェクトによるバイオインフォマティクスに基づく構造生物学
	分子反応解析学	宇野 公之	3	5	1. ヒト新規グロビンタンパク質の構造と機能、及び活性酵素との関わり 2. タンパク質工学に基づくガスキャリアータンパク質の機能改変 3. 薬物代謝酵素CYPの基質認識と酵素活性、及び一塩基多型の影響 4. CYPの基質認識に関するハイスループットスクリーニング法の開発 5. 各種分光分析法によるヘムタンパク質の酸素活性化機構の解明
	分子生物学	水口 裕之	2	5	1. ヒトiPS細胞から肝臓細胞、小腸細胞等への分化制御に関する分子生物学的解析と創薬研究への応用 2. 新規遺伝子導入・発現制御技術の開発と遺伝子治療、ウイルス療法、再生医療、ワクチン等への応用 3. ノンコーディングRNA（マイクロRNA等）の機能解析と創薬研究への応用
	生命情報解析学	土井 健史	3	5	1. 血管特異的遺伝子発現を生み出す転写・エピジェネティクス因子についての研究 2. 血管特異的受容体Robo4の機能解明と炎症性疾患治療薬開発への応用 3. 脳血管（血液脳関門）およびガン血管の透過性制御技術の開発 4. 代謝性疾患に関与する転写制御因子を標的とした創薬研究 5. 非天然型アミノ酸をタンパク質に導入することによる新規テクノロジーの開発
	細胞生理学	辻川 和丈	2	5	1. RNAエピジェネティクス制御による発生、老化や癌発症機構の解析 2. 臨床癌検体を用いた癌の発症・悪性化に関わる分子の同定と機能解析 3. 革新的戦略による癌の分子標的治療薬の創成 4. 免疫系を介した癌制御の分子基盤の解明
情報・計量薬学	高木 達也	5	5	1. 医薬学、遺伝子科学におけるデータの解析のための、データマイニング、機械学習法、システムバイオロジー手法の開発、改良、応用 2. 数理科学手法を駆使した、医薬品の化学構造と有害事象の相関に関する研究 3. 計算化学手法による、in Silico 医薬品設計と化学反応、物性の機構解明 4. 機械学習法、メタアナリシス等を用いた、医薬品のリスクマネジメント（システム）に関する計量薬学的研究 5. 環境中における化学物質・医薬品関連物質の環境運命・環境毒性に関する計量・計算化学的研究	

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。
※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

平成30年度学生募集分野の研究内容等（博士前期課程）
【特別入試・一般入試】

	分野	指導教授	受入可能人数		研究内容
			前期課程 特別入試	前期課程 一般入試	
基 幹 分 野	生体機能分子化学	八木 清仁	2	5	1. C型肝炎に対する新規治療法に関する研究 2. Tight junctionにおける上皮バリア形成メカニズムの解析 3. バイオ医薬品の吸収促進法に関する研究 ※研究内容が変更になる場合がありますので指導教授に確認してください。
	臨床薬効解析学	藤尾 慈	0	5	1. 心不全新規治療法の開発を目指した分子循環器学 2. 循環器領域におけるサイトカイン科学 3. カルシウムシグナリングの心筋細胞死における役割の解明 4. 腎疾患克服のための分子生物学 5. 循環器疾患、生活習慣病等における臨床薬理学
	薬剤学	中川 晋作	5	5	1. 経皮ワクチン（貼るワクチン）およびアレルギー経皮免疫療法の実用化研究 2. 経皮免疫誘導機構の解明と経皮投与型アジュバントの開発 3. Cell Delivery Systemに基づく細胞療法（CAR-T療法）の最適化と臨床展開 4. 免疫抑制機構の解明と免疫療法への応用
	医療薬学	上島 悦子	1	5	1. グローバルな視点に立った医療薬剤疫学研究 2. 抗がん剤の適正投与を目的とした研究 3. 緩和医療に適用される医薬品に関する臨床研究 4. 感染制御を目的とした抗菌剤使用適正化研究 5. 循環器疾患発症の機序解明を目的とした研究 ※薬剤師免許を取得していることが望ましい
	毒性学	堤 康央	3	5	1. トキシコキネティクス・トキシコプロテオミクス等によるナノマテリアルの安全性追求（NanoTox研究） 2. 先端バイオ医薬・ナノ医薬の安全性確保のための創薬基盤技術の開発とその展開 3. 化粧品・食品およびその含有成分の安全性評価とその手法開発 4. 種々環境因子、病原体の生殖発生毒性、免疫毒性等の発現メカニズム解析と解毒法の開発 5. 化学物質（生体異物）に対する生体の応答および防御機構の解明
	神経薬理学	橋本 均	0	5	1. 脳・神経機能調節に関する分子薬理学的研究 2. 多能性幹細胞からの神経分化の解析とその創薬研究への応用 3. ミトコンドリアの形態制御とその病態生理に関する研究 4. 精神・神経疾患の中間表現型探索を目指した、全脳細胞の定量的形態計測系の構築
	応用環境生物学	平田 収正	3	5	1. 光合成生物の環境ストレス応答反応の機能進化プロセスの解明と環境修復、環境浄化および食料増産への応用 2. 光合成生物の代謝調節機構の解析と有用物質生産への応用 3. 機器化学分析を用いた食品・生薬の品質管理法の開発 4. 光合成生物の多様な代謝能を利用した環境汚染物質の無毒化技術の開発
協 力 ・ 連 携 分 野	細胞生物学 [産業科学研究所]	西野 邦彦	5	5	1. 細菌多剤排出ポンプ阻害剤に関する研究 2. トランスポーターによる多剤耐性・病原性発現制御機構と新規治療法の開発 3. 機械学習・人口知能による多剤耐性菌のモデル化と自動判別技術開発 4. 腸内フローラの改善法の開発と健康維持における細菌の役割に関する研究 5. 機能未知なオーファン輸送体の機能と疾病への関わりとの解明と新しい創薬基盤技術の創出
	生体分子科学分野 [産業科学研究所]	永井 健治	2	2	1. 蛍光および発光蛋白質を用いた生理機能センサーの開発 2. 光増感蛋白質による分子標的の不活性化法の開発 3. 先端的ライブイメージング技術の開発 4. オンサイト検査法の開発 5. 細胞内情報熱化学 6. シンギュラリティー生物学
	遺伝子機能解析学 [微生物病研究所]	伊川 正人	2	2	1. 個体レベルでの遺伝子改変技術開発（主にゲノム編集） 2. 哺乳類の受精メカニズム解明と不妊診断治療・避妊薬の開発 3. 着床・胎盤形成メカニズムの解明 4. 蛍光ライブイメージングによる受精現象の可視化
	創薬ナノデザイン学 [微生物病研究所]	山西 弘一	3	5	1. 次世代型ワクチンの開発に資するワクチン抗原・アジュバントの送達キャリア開発 2. 次世代型ワクチンの開発に資する新規アジュバントの開発 3. 感染症に対する免疫防御機構の解明 4. 実用化を目指した新興・再興感染症に対するワクチン開発
	伝統医薬解析学	<准教授> 高橋 京子	1	2	1. 薬用植物を活用した6次産業化とその実現のためのコンソーシアムの構築 2. 伝統薬物資源のデータベース構築と社会連携 3. 和漢薬の有効・安全性に関する科学的評価と客観化研究：メタロミタス活用とQOL評価解析 4. 実践的漢方医薬学教育支援プログラムの開発 5. 医療文化財（緒方洪庵の薬箱他）の学際的・文化財科学的研究

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。

※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

平成30年度学生募集分野の研究内容等（博士前期課程）
【特別入試・一般入試】

分野	指導教授	受入可能人数		研究内容
		前期課程 特別入試	前期課程 一般入試	
環境病因病態学 〔府立成人病センター〕 (世話分野：臨床薬解析学)	井上 正宏 (藤尾 慈)	2	2	1. 患者検体からのがん細胞培養法の開発 2. 患者検体からのがん細胞培養を用いた薬剤感受性試験の開発 3. 患者検体からのがん細胞培養を用いたバイオマーカー・治療標的の探索 4. がん細胞の低酸素応答、特にtumor dormancy の分子機構の解明 5. 血管新生阻害による腫瘍内がん細胞の質的变化の解析
遺伝子細胞医薬学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：分子生物学)	佐藤 陽治 (水口 裕之)	1	1	1. 再生医療等製品やその製造基材 (ES/iPS細胞等) の特性評価法の開発 2. 再生医療等製品やその製造基材 (ES/iPS細胞等) の遺伝的安定性評価法に関する研究 3. 体細胞由来する再生医療等製品の品質・安全評価法の開発 4. ES/iPS細胞由来する再生医療等製品の品質・安全評価法の開発
注 核酸医薬学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：生物有機化学)	奥田 晴宏 (小比賀 聡)	0	0	1. 核酸医薬品の毒性に関する研究 2. 核酸医薬品のオフターゲット効果に関する研究 3. 核酸医薬品の細胞内動態に関する研究
バイオ医薬学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：生命情報解析学)	石井 明子 (土井 健史)	1	1	1. 改変型抗体医薬品の構造と機能に関する研究 2. 抗体医薬品の薬理作用・薬物動態評価に関する研究 3. 抗体医薬品の安全性評価に関する研究
機能性製剤学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：毒性学)	奥田 晴宏 (堤 康央)	1	1	1. 非晶質化技術などを用いて高いエネルギー状態に誘導された製剤 (高エネルギー系製剤) の品質の一定性を支配する製剤物性の解明とその制御法に関する研究 2. 製剤物性評価に基づく高エネルギー系製剤の安定性評価法 (予測法) の開発
化学物質等 安全性評価学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：毒性学)	広瀬 明彦 (堤 康央)	1	1	1. 食品経由の微量暴露化学物質の包括的リスク評価手法の開発に関する研究 2. 医薬品製剤中の不純物質等のリスク評価手法の開発に関する研究 3. 毒性発現パスウェイ (AOP) を利用した統合的リスク評価アプローチに関する研究
食品安全学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：毒性学)	梶山 浩 (堤 康央)	1	1	1. 食品中残留農薬等分析における試料調製方法の検討 2. 安定同位体標識標準品による内標準法を用いた高精度な食品中残留農薬等定量法の検討 3. 食品中の残留性有機汚染物質を対象にした迅速分析法の開発と摂取量推定に関する研究
薬食衛生微生物学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：毒性学)	<准教授> 菊池 裕 (堤 康央)	2	2	1. 医薬品製造工程を汚染する異常プリオン蛋白質検出法の開発およびプリオン病の解明に関する研究 2. バイオテクノロジー応用医薬品/生物起源由来医薬品や再生医療等製品の微生物学的安全性確保に関する研究 3. 原因不明食中毒の解明と検出法開発に関する研究
医療機器安全学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：分子反応解析学)	靄島 由二 (宇野 公之)	2	2	1. プロテオミクス解析を利用した医用材料の生体適合性評価に関する研究 2. RNAアプタマーを利用した能動的蛋白質吸着制御表面の創成に関する研究 3. 実臨床条件を模した医療機器性能評価法に関する研究 4. 整形インプラント材料の耐久性評価に関する研究 5. 新規医用材料の生体適合性を予測するin silico評価法に関する研究
ゲノム安全学 〔国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)〕 (世話分野：応用環境生物学)	本間 正充 (平田 收正)	1	1	1. ゲノム編集技術によるヒト変異細胞の作成と、それらを用いた安全性試験への応用 2. 生活環境中に存在する微量の発がん物質の安全性、およびリスク評価に関する研究 3. インシリコ/構造活性相関 (QSAR) による化学物質の遺伝毒性・発がん性予測に関する研究

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。

※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

※国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）に所属する分野への志願者は、分野主任より前に、川西徹所長（kawaniish@nihs.go.jp）まで受入について問い合わせること

※注 平成30年度の募集は行いません。

平成30年度学生募集分野の研究内容等（博士前期課程）
【特別入試・一般入試】

分野	指導教授	受入可能人数		研究内容
		前期課程 特別入試	前期課程 一般入試	
注 バイオ創薬学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 毒理学)	米田 悦啓 (堤 康央)	0	0	1. バイオ医薬の創製・高機能化に関する研究と基盤技術開発 2. 薬物動態解析・制御・最適化に関する研究と基盤技術開発
幹細胞制御学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 分子生物学)	川端 健二 (水口 裕之)	2	2	1. ES・iPS細胞等を用いた再生医療・細胞性製剤のデザイン研究とその基盤技術開発 2. ES・iPS細胞等を用いた幹細胞毒性評価系など、毒性試験法の確立と創薬支援
注 臨床免疫学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 臨床薬効解析学)	米田 悦啓 (藤尾 慈)	0	0	1. シグナル伝達阻害に基づく分子標的医薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 革新的な免疫療法の確立と創薬支援
ワクチン材料学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 薬剤学)	國澤 純 (中川 晋作)	2	2	1. 粘膜免疫システムを用いたワクチンや免疫創薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 腸内フローラや栄養に着目した免疫研究と創薬・機能性食品の開発研究
アジュバント学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 薬剤学)	石井 健 (中川 晋作)	1	1	1. 安全かつ有効なワクチン用アジュバントのデザイン研究とその基盤技術開発 2. 臨床に根ざした感染症・がん等に対するワクチン療法の確立と創薬支援
霊長類医科学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 応用環境生物学)	保富 康宏 (平田 收正)	2	2	1. 霊長類を用いた創薬グランドデザイン研究とその基盤技術開発 2. 霊長類を用いた疾患モデルおよび前臨床試験の確立と創薬支援
薬用植物資源学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 応用環境生物学)	川原 信夫 (平田 收正)	1	1	1. 薬用植物資源を用いた天然薬物のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 薬用植物由来の天然化合物及びエキスライブラリの確立と創薬支援
創薬標的探索学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 生命情報解析学)	鎌田 春彦 (土井 健史)	2	2	1. 創薬標的探索に向けた基盤技術の開発とその創薬への展開 2. 創薬標的に対するターゲティングのデザイン研究とその技術開発
抗体医薬設計学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 毒理学)	永田 諭志 (堤 康央)	2	2	1. 抗体医薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 抗体医薬のスクリーニング技術の確立と創薬支援
核酸医薬設計学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 生物有機化学)	米田 悦啓 (小比賀 聡)	1	2	1. 核酸医薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 核酸医薬のスクリーニング技術の確立と創薬支援
核輸送動力学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 生命情報解析学)	米田 悦啓 (土井 健史)	1	1	1. 核輸送メカニズムの解明研究を活かした核送達キャリアのデザイン研究とその基盤技術開発 2. 細胞内動態制御技術（オルガネラターゲティング）の確立と創薬支援
創薬情報科学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野: 生命情報解析学)	水口 賢司 (土井 健史)	2	2	1. 創薬標的の探索や安全性予測を目指した、大規模実験データの解析および統合データベース開発 2. タンパク質-タンパク質、タンパク質-化合物相互作用の予測と生体反応のモデル化、医薬品設計への応用
先進医療技術開発推進学 [国立循環器病研究センター] (世話分野: 臨床薬効解析学)	山本 晴子 濱崎 俊光 (藤尾 慈)	2	2	1. 循環器疾患の最適療法の確立に向けたレギュラトリーサイエンス 2. 革新的な臨床試験デザインに関する研究とその応用 3. 医薬品の研究開発における統計的方法の研究とその応用
病態代謝学 [国立循環器病研究センター] (世話分野: 生物有機化学)	斯波 真理子 (小比賀 聡)	2	2	1. 循環器臨床に根ざした核酸療法の実用化研究とその基盤技術開発 2. 核酸療法の最適化に叶う創薬に資する循環器疾患標的の探索とその応用
生体医工学 [国立循環器病研究センター] (世話分野: 薬剤学)	山岡 哲二 (中川 晋作)	1	1	1. 薬物・医療機器コンビネーション製品のデザイン研究とその基盤技術開発 2. DNCS (Drug Navigated Clearance System)の開発

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、

所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。

※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

※注 平成30年度の募集は行いません。

平成30年度学生募集分野の研究内容等（博士前期課程）
【特別入試・一般入試】

	分野	指導教授	受入可能人数		研究内容
			前期課程 特別入試	前期課程 一般入試	
附置 センター プロジェクト	先進臨床薬理学 研究プロジェクト [Pharm D教育研究ユニット]	藤尾 慈	0	1	1. 薬物動態関連遺伝子の臨床ゲノム薬理学研究 2. 生活習慣病およびがんの適正治療のためのゲノム薬理学研究
	注 iPS肝毒性・代謝 プロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット]	水口 裕之	0	0	1. ヒトiPS細胞から肝臓細胞への高効率分化誘導法の開発 2. ヒトiPS細胞由来分化誘導肝細胞を用いた毒性評価・肝代謝評価・薬効評価系の開発 3. ヒトiPS細胞から膵臓細胞、小腸細胞等への高効率分化誘導法の開発と創薬応用に関する研究
	注 iPS脳神経毒性 プロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット]	橋本 均	0	0	1. ヒトiPS細胞から神経細胞への分化誘導に関する研究 2. 精神疾患患者のiPS細胞を用いた分子病態解析と創薬応用に関する研究 3. 多能性幹細胞からのセロトニン神経への分化機構とその病態的意義の解明
	注 iPS心血管・血液毒性プ ロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット]	土井 健史	0	0	1. iPS細胞の作製およびiPS細胞から心筋細胞等への分化誘導に関する研究 2. iPS細胞由来心筋様組織等の組織体の薬剤に対する応答評価に関する研究
	注 核酸医薬創成プロジェ クト 核酸医薬評価科学プロ ジェクト 核酸医薬臨床薬事プロ ジェクト [創薬臨床研究推進ユニット]	小比賀 聡	0	0	1. 高機能性人工核酸を利用した核酸医療の創成 2. 核酸医薬や核酸分子の品質評価法の開発 3. 核酸医薬のリスクベネフィット評価に関する調査研究
	構造生物学 プロジェクト [創薬チャレンジユニット] (世話分野：生物有機化学)	<准教授> 青山 浩 (小比賀 聡)	2	2	1. 有機化合物、核酸、膜タンパク質、超分子複合体のX線結晶構造解析と薬学領域への展開 2. 超高精度解析による生体高分子の水素原子の可視化と応用 3. 結晶学と分光学の融合による次世代生命科学研究 4. 高難度タンパク質の構造解析法の開発 5. ホモロジーモデリングによる細胞間物質輸送機構の研究
	天然物創薬学	荒井 雅吉	2	5	1. がん分子標的治療薬および感染症治療薬探索のためのアッセイ系の構築 2. 薬用植物、底生海洋生物および海洋微生物からの新しい医療シーズの探索 3. 新規微量活性天然物の全合成研究 4. 微量活性天然物の全合成研究とアナログ合成による構造活性相関の解析 5. ケミカルバイオロジーを基盤とする活性天然物の標的分子と作用機序の解明
寄 附 講 座	先制心身医薬学 (世話分野：生命情報解析学)	関山 敦生 (土井 健史)	3	2	1. 生体ホメオスタシスの破綻による疾患前駆状態形成メカニズムの解明 2. アットリスク群の選抜マーカー確立による投薬・介入対象の新規発見 3. ストレスによってうつ病など脳機能低下が形成される経路の解明 4. ヒト、モデル動物に共通する、疾患トランレショナルバイオマーカー分子群の解明 5. 臨床データに基づく精神疾患のマーカー探索のための情報解析システムの構築
共 同 研 究 講 座	先端化粧品科学（マンダ ム） (世話分野：臨床薬効解析学)	岡田 文裕 (藤尾 慈)	2	2	1. 再生医療技術等の先端医療技術の外用剤への応用に関する研究 2. 加齢による皮膚疾患の薬剤開発に向けた、表皮幹細胞による皮膚恒常性維持機構の解析 3. 発汗調節を行うヒト汗腺の三次元構造と汗腺幹細胞の多分化能維持機構の解明 4. 色素幹細胞、毛包幹細胞の分化制御メカニズムの解析と有効薬剤探索のための手法確立 5. 表皮の恒常性維持のための、免疫システムにおける免疫細胞の役割解明

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。
※附置センタープロジェクトで新規募集を行う予定です。決定次第、大阪大学薬学研究科HPでお知らせします。
※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。
※注 平成30年度の募集は行いません。